



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2017

No. 44 (平成30年2月15日発行)

## 佐野小学校での「環境教育」出前授業②



2018年1月19日(金)、佐野小学校での**最後の出前授業**が行われました。今回は、本プロジェクトの総まとめとして、小学4年生の「環境に関する課題研究」の発表の準備を行いました。これまで4回にわたり、本校生26名が2チームに分かれ、交代で授業を引き継ぎながら実施してきました。

高校1年生は、SGH活動で、大学の留学生に課題研究のアドバイスを受けてきましたが、今度は自分たちがアドバイスする側に立ちました。教えることで、高校生自身の「**深い学び**」にも繋がりました。

〈佐野小学校での環境教育「出前授業」プロジェクトの概要〉

- Stage 1 森林環境教育プログラム「プロジェクトラーニングツリー」講習会 (本校会場、26名受講)  
9月30日、10月1日
- Stage 2 佐野小学校での出前授業 ① (A日程チーム12名) 10月20日 木や水に関する授業①  
② (B日程チーム14名) 11月10日 木や水に関する授業②
- Stage 3 佐野小学校での出前授業 ③ (A日程チーム12名) 12月18日 グループ別研究の指導①  
④ (B日程チーム14名) 1月19日 グループ別研究の指導②

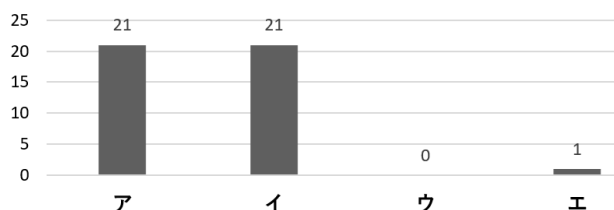
### (感想)

- ・最後の授業は、以前行った授業内容のまとめだったが、児童の理解の深さに驚くのと同時に、教えた内容がきちんと伝わっていたことがとてもうれしかった。小学生の柔軟な発想と高校生の知識の深さが合わさり、とても良い研究になった。教える側に立つことで見えてくる新しい教育の側面があった。有意義な時間を過ごすことができた。(1-1 大芦さくらさん)
- ・今回の経験で、小学生に分かりやすく教えることの難しさを学んだ。小学生に教えるということは、自分が内容を深く理解しておかなければならず、正しい知識を教えるためには、責任感を持って取り組まなければいけないと強く感じた。(1-2 若田部亜季実さん)
- ・2回の授業で小学生たちと親しい関係を築くことができたので、うまくアドバイスができたのではないと思う。小学生が考えていることと私たちが伝えたいことを上手にまとめ、小学生に教えることがとても難しかった。全体を通してとてもためになり、良い経験であった。(1-3 中村優那さん)
- ・小学生に対して、高校生にしかできないことを手助けすることができたと思う。お互いにとって、有意義な時間が過ぎてよかった。(1-3 佐藤望遥さん)

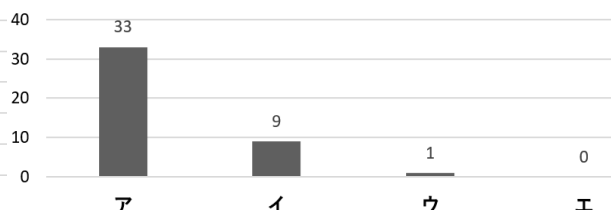
## 小学4年生（43名）へのアンケート（H30.1.19実施）

（ア 強くそう思う イ そう思う ウ あまり思わない エ 思わない）

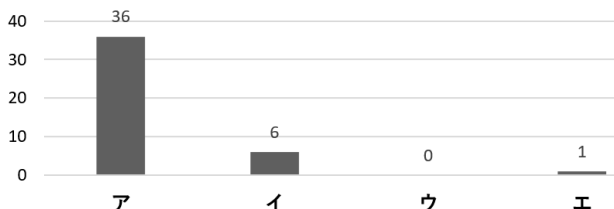
①高校生の授業に意欲的に取り組みましたか



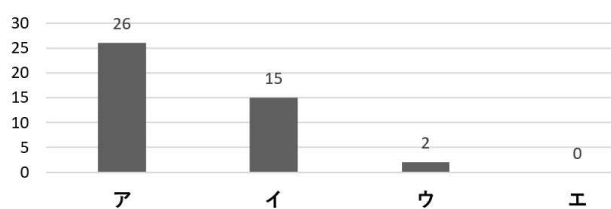
②高校生からたくさん学ぶことができましたか



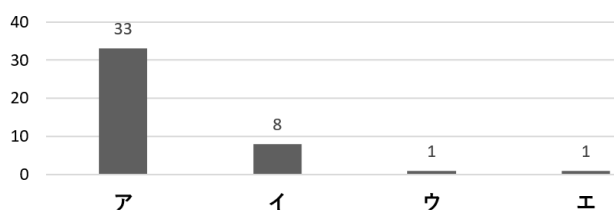
③高校生はやさしく、熱心に教えてくれましたか



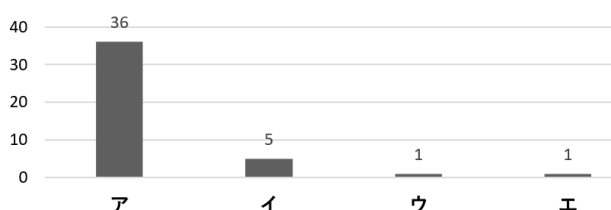
④高校生に質問したり話しかけやすかったですか



⑤高校生の授業を受けてよかったですか



⑥高校生の授業をまた受けてみたいと思いますか



### <主な感想>

- ・高校生の説明はわかりやすかったです。高校生がいてくれたので研究がすごく進みました。
- ・高校生は自分の意見をうまく取り入れてくれました。高校生はすごい。
- ・高校生は何でも知っていて、やさしく教えてくれたところがうれしかったです。
- ・わたしたちのためにいろいろ教えてくれてうれしかったです。
- ・どんなことでも熱心に受け止めてくれ、せいかくなはんだんをすることがすごいと思いました。自分も佐高生のような高校生になりたいと思いました。
- ・わからないことをヒントを出して教えてくれたところがすごい。また来てもらいたい。
- ・すごく楽しかった。またじゅぎょうを受けたいです。やさしく教えてくれてありがとうございます



一緒に給食を食べました。

### 佐野小学校、東京農工大学、佐野市、佐野市環境ネットワーク会議の方々のコメント

- 高校生が課題研究を指導してくれたのは、本当に良かった。（佐野小4年生学年主任の菊地先生）
- 地域の学校同士が協力し合って教育の質を高めることができた。佐高生にはとても感謝をしている。素晴らしい取組であるので、来年度も是非お願いしたい。（佐野小学校 木村校長）
- 高校生が入ることで、小学生の環境問題への興味が深まり、課題研究のレベルも上がった。佐高生の頑張りや特筆すべきもので、おかげで非常にうまくいった。（東京農工大学 佐藤先生）
- 高校生にとっては普段の学習では得られない責任感やリーダーシップが養われたのではないかと思います。今後もこの活動を継続してほしい。（佐野市クリーン推進課 古橋さん）
- 今回のプロジェクトは、小学校・高校・大学・行政・NPOの5者協働の取組で、全国的にも画期的である。特に年代が近い小学生と高校生でうまくコミュニケーションがとれ、高校生が各班のリーダーとしてうまく指導でき、AB両チームの引き継ぎもうまくいったのが成功の要因である。（佐野市環境ネットワーク会議 赤堀先生）